

令和5年度 ニシン漁獲物調査速報(9):厚田地区

1~3月に実施しているニシン漁獲物の生物測定調査結果の速報を随時お知らせしています。

令和6年4月1日に石狩湾漁協厚田地区で水揚げされたニシンの漁獲物調査を実施しましたので、結果をお知らせします。石狩湾漁協厚田支所の皆様、ご協力ありがとうございました。

【結果】

1. 漁獲状況

4月1日の厚田地区では、銘柄「メス」、「オス特大」、「オス大」、そして「オス大中」が水揚げされていました。

2. 銘柄「メス」の結果：卵巣完熟率は94%

銘柄「メス」の標本50尾中、47尾(94%)で卵巣は完熟状態で、卵巣が若干収縮し産卵開始後と思えるものが3尾(6%)でした。平均卵巣重量(最小~最大)は、83.9g(43.7~164.9g)でした。尾叉長29~32cm台の比較的幅広い範囲の個体が多く漁獲されていました(図1)。体重は280~379gが中心となっていました。

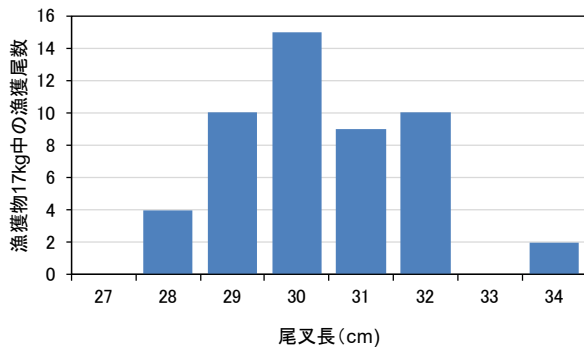


図1 銘柄「メス」の尾叉長組成

3. 銘柄「オス特大」の結果

銘柄「オス特大」の標本41尾のうち25尾(61%)は放精前の状態でしたが、16尾(39%)は放精中(精巣が収縮中)のオスでした。尾叉長は30~31cm台が多く(図2)、体重280~429gの個体が中心でした。

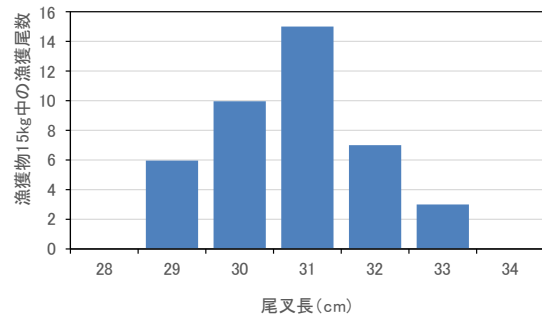


図2 銘柄「オス特大」の尾叉長組成

4. 銘柄「オス大」の結果

銘柄「オス大」の標本50尾のうち32尾(64%)は放精前の状態でしたが、18尾(36%)は放精中(精巣が収縮中)のオスでした。尾叉長は30cm台が多く(図3)、体重は280~329gの個体が中心でした。

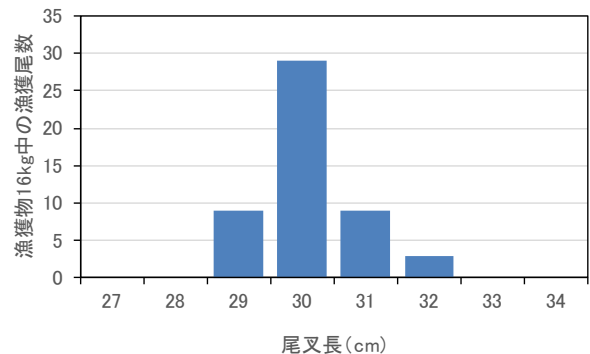


図3 銘柄「オス大」の尾叉長組成

(裏につづく)

5. 銘柄「オス大中」の結果

銘柄「オス大中」の標本58尾のうち28尾(48%)は放精前の状態でしたが、30尾(52%)は放精中(精巣が収縮中)のオスでした。尾叉長は29cm台が多く(図4)、体重は230~279gの個体が中心でした。

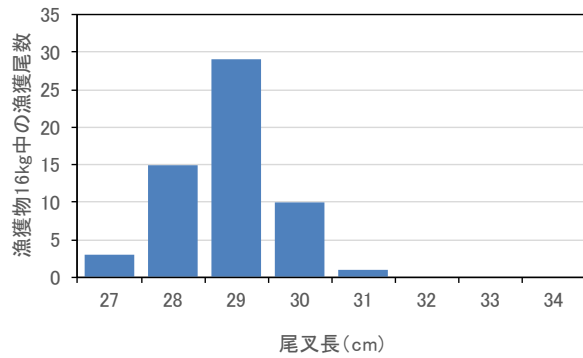


図4 銘柄「オス大中」の尾叉長組成